

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは入試広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : n.kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2024-115
9月24日～10月11日

福岡工業大学 × 台湾国立宜蘭大学 2024 年度 福岡 gPBL 研修を実施

台湾の協定校である国立宜蘭大学の学生 10 名と同大学外国語文学学科の劉淑如副教授を迎え、2024 年 9 月 2 日（月）～9 月 6 日（金）の 5 日間の日程で「2024 年度：国立宜蘭大学・福岡 gPBL 研修」を実施しました。このプログラムでは、サービス・ラーニングをテーマに日本と台湾で共通する課題・共に考える価値について検討しました。一行は本学社会環境学部で藤井洋次教授の指導のもと、延べ 11 名の学生サポートと本学附属城東高校生との交流を通じて、考えを深めました。

環境保護活動では、社会環境学部の環境学生組織「エコ FIT」と協力し、奈多海岸（福岡市東区）の清掃とビーチコーミングを行い、収集した漂着物を使用して、クリエイティブ・リユース実践として本学モノづくりセンターにてアート作品の制作を行いました。また、北九州市エコタウンセンターでは、家電製品のリサイクルや風力発電施設を視察し、私たちがごみとして出したものがリサイクル工場で資源に生まれ変わる様子や大規模な自然エネルギー施設を実際に見学することでごみを減らす意識やエネルギーの大切さなどを学びました。

さらに、日本と台湾の歴史的関係については、日清戦争の終結と日中関係の歴史的背景を学べる日清講和記念館（下関市）の訪問及び藤井教授・劉副教授のレクチャーを通じて、両国間の過去の関係だけでなく、現代における相互理解や交流の重要性を学びました。

研修期間中には、城東高校の英語の授業と連携し、宜蘭大学の学生が台湾紹介や台湾と日本の類似点・相違点などについて生徒 80 名超の前でプレゼンテーションを行い、台湾のお菓子を試食しながら懇談しました。高校生にとっては、普段外国の方と接する機会が少ないため、異文化理解の深化や国際感覚の養成などが図れた貴重な体験となりました。

5 日間という短い期間でしたが、台湾の学生たちは多くの学びを得るとともに、本学の学生・生徒たちもまた台湾人学生と交流を深めることができました。

（国際連携室）



清掃活動・ビーチコーミングの様子



モノづくりセンターでクリエイティブ・リユースを実践



アート作品との集合写真



附属城東高校でのプレゼンテーションの様子



風力発電施設の視察の様子



修了式での集合写真